



## 平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマザワ

コード番号 9993 URL <http://yamazawa.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 板垣 宮雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 森 美博 TEL 023-631-2211

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	76,889	0.3	1,417	△49.6	1,446	△49.0	773	△50.5
24年3月期第3四半期	76,687	11.0	2,814	55.2	2,835	54.7	1,562	97.4

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 798百万円 (△48.1%) 24年3月期第3四半期 1,539百万円 (92.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	71.09	71.01
24年3月期第3四半期	143.59	143.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	50,848	28,136	55.3
24年3月期	46,938	27,692	59.0

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 28,120百万円 24年3月期 27,681百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	18.50	-	16.50	35.00
25年2月期	-	16.50	-	-	-
25年2月期(予想)	-	-	-	16.50	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	-	1,700	-	1,700	-	900	-	82.70

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

2. 平成25年2月期は、決算期変更の経過期間のため11ヶ月決算となっております。

平成25年2月期の連結業績予想の通期の対前期増減率については、記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。  
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年2月期3Q	10,960,825株	24年3月期	10,960,825株
② 期末自己株式数	25年2月期3Q	78,728株	24年3月期	78,624株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年2月期3Q	10,882,097株	24年3月期3Q	10,882,369株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興が進むにつれて緩やかな回復基調であったものの、欧州債務危機や円高の長期化、中国との関係悪化などによる輸出企業の業績不振、電力供給不足の懸念等があり、非常に不透明な状況で推移いたしました。

小売業界におきましては、お客様の低価格志向・節約志向による価格競争の激化、競合各社の新規出店、更に業種・業態を越えた競争も加わり、非常に厳しい経営環境となりました。

このような環境の中、当社グループにおきましては「地域のお客様に繰り返しご来店していただける店づくり」に向け、全社一丸となって各施策の実行及び検証を行なってまいりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、前事業年度にスーパー創立50年を迎えたのに続き、グループ創業60年となり、これまでのお客様のご愛顧に感謝するとともに、新たな目標に向かいグループ一丸となって販売活動を行なってまいりました。

当第3四半期連結累計期間の新規出店といたしまして、平成24年7月に山形県山形市に宮町店（ドラッグ併設）を開店いたしました。また、建て替えのため平成24年5月より営業を休止しておりました山形県川西町の川西店、山形県山形市の松見町店（ともにドラッグ併設）を、平成24年11月に新装開店いたしました。これにより、スーパーマーケットは山形県内44店舗、宮城県内22店舗の合計66店舗となりました。

新店では、料理提案型をコンセプトに調理済み商品やメニュー提案を更に強化し、鮮魚・精肉部門での店内調理品の販売や、サラダセットの品揃えを充実させた「サラダステーション」、旬の素材と調味料を使ったメニュー提案や新商品の試食が出来る「おためしコーナー」の設置など、新たな取り組みを実施いたしました。また、環境に配慮する店舗として、店内や駐車場などにLED照明を採用しました。これにより、従来の当社店舗と比べて照明使用電力の40%削減を見込んでおります。

販売面におきましては、お客様の低価格への要望が続く中、スーパーマーケット事業におきましては、引き続き恒例の「生活応援セール」や「水曜均一祭」の強化を行なってまいりました。「水曜均一祭」は98円均一を中心に買い得商品を多数そろえ、好評を得ている企画となっております。更に、毎日午後2回のタイムサービスを全店舗で実施いたしております。野菜や日配品を中心に数量を限定し、通常より価格を大幅に下げて販売するものであり、お客様には大変好評を得ております。

これらの取り組みにより、売上面におきましては、厳しい経営環境ではありましたが客数が堅調に推移したことや、連結子会社の株式会社ヤマザワ薬品の売上が前期を上回ったこともあり、増加いたしました。利益面におきましては、前事業年度の増益要因の一つであった震災の影響によるチラシ特売の一時見合わせや広告宣伝費、光熱費等が減少したことへの反動に加え、店舗数の増加に伴う人件費や減価償却費などの設備費等の増加もあり、営業利益、経常利益ともに減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は768億89百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は14億17百万円（同49.6%減）、経常利益は14億46百万円（同49.0%減）、四半期純利益は7億73百万円（同50.5%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は508億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して39億9百万円の増加となりました。

資産の部においては、設備投資の増加に伴い現金及び預金の減少等となりましたが、今後の出店のための土地の取得及び新店出店、店舗の建て替えに伴い建物及び構築物、その他無形固定資産が増加、また、年末年始の繁忙期による商品及び製品の増加等となりました。

負債の部においては、法人税等の支払による未払法人税等の減少、賞与の支払による賞与引当金の減少等がありましたが、設備資金の支払のため短期借入金の増加、商品及び製品の増加に伴う買掛金の増加等となりました。

なお、純資産は281億36百万円となり、自己資本比率は55.3%となっております。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の業績予想につきましては、平成24年10月26日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ22,200千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,783,714	7,398,399
受取手形及び売掛金	598,413	666,842
商品及び製品	4,034,944	4,569,677
仕掛品	699	1,052
原材料及び貯蔵品	76,358	102,381
その他	1,579,890	1,590,561
流動資産合計	14,074,022	14,328,915
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,418,559	13,593,128
土地	13,794,825	16,218,115
その他(純額)	2,360,097	2,120,033
有形固定資産合計	28,573,483	31,931,277
無形固定資産	1,255,290	1,474,061
投資その他の資産	3,035,933	3,114,070
固定資産合計	32,864,706	36,519,408
資産合計	46,938,728	50,848,323
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,616,642	9,050,561
短期借入金	1,400,000	4,450,000
未払法人税等	1,030,507	698
賞与引当金	453,000	122,070
役員賞与引当金	29,600	20,990
ポイント引当金	474,236	547,331
商品券回収損失引当金	66,857	53,686
資産除去債務	35,196	50,493
その他	4,611,657	4,982,748
流動負債合計	15,717,698	19,278,580
固定負債		
退職給付引当金	476,193	487,989
資産除去債務	763,410	785,410
その他	2,288,903	2,159,755
固定負債合計	3,528,507	3,433,155
負債合計	19,246,205	22,711,735

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,388,717	2,388,717
資本剰余金	2,205,192	2,205,192
利益剰余金	23,213,145	23,627,638
自己株式	△89,593	△89,744
株主資本合計	27,717,461	28,131,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△35,976	△10,847
その他の包括利益累計額合計	△35,976	△10,847
新株予約権	11,037	15,631
純資産合計	27,692,522	28,136,587
負債純資産合計	46,938,728	50,848,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	76,687,798	76,889,344
売上原価	55,390,236	55,831,758
売上総利益	21,297,561	21,057,585
販売費及び一般管理費		
給料	6,699,453	7,065,829
賞与引当金繰入額	112,442	119,161
役員賞与引当金繰入額	20,470	20,990
退職給付費用	73,875	78,155
ポイント引当金繰入額	510,497	547,331
減価償却費	1,203,528	1,433,252
その他	9,862,987	10,375,164
販売費及び一般管理費合計	18,483,254	19,639,885
営業利益	2,814,306	1,417,700
営業外収益		
受取利息	5,007	4,695
受取配当金	7,676	9,683
その他	23,810	33,422
営業外収益合計	36,495	47,801
営業外費用		
支払利息	7,893	11,579
その他	7,669	7,631
営業外費用合計	15,563	19,210
経常利益	2,835,238	1,446,290
特別利益		
固定資産売却益	15	108,203
災害損失引当金戻入益	51,217	—
災害見舞金収入	52,315	—
その他	22,431	13,954
特別利益合計	125,981	122,157
特別損失		
固定資産除却損	32,358	183,471
固定資産売却損	702	—
減損損失	45,072	42,425
災害による損失	107,037	—
その他	—	29,597
特別損失合計	185,170	255,494
税金等調整前四半期純利益	2,776,048	1,312,954
法人税、住民税及び事業税	1,059,918	416,304
法人税等調整額	153,546	123,045
法人税等合計	1,213,465	539,349
少数株主損益調整前四半期純利益	1,562,583	773,604
四半期純利益	1,562,583	773,604



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,562,583	773,604
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△22,995	25,128
その他の包括利益合計	△22,995	25,128
四半期包括利益	1,539,588	798,733
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,539,588	798,733
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。